※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　高等学校 言語文化」　（数研出版）						
副教材等	基礎古典　大学入試共通テスト対策　新装版（尚文出版）、必携新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～　改訂版（尚文出版）、必携新明説漢文ノート～句法と語彙の定着を図る～　改訂版（尚文出版）、基礎から学ぶ　解析古典文法［四訂版アルファ］（桐原書店）、基礎から学ぶ　解析古典文法演習ノート［四訂版］（桐原書店）、新訂　国語図説　六訂版（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、時代に関係なく人々の心を打つ文学作品を数多く読んでいきます。そのために、基本的な文法事項や語句を繰り返し学習し、しっかりと身につけていきましょう。振り返りの小テストを定期的に行います。

また、家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。計画的に丁寧に取り組みましょう。

古典は予習することがとても大切です。予習したノートに授業中の気づきをメモして理解を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

（１）　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。

（２）　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

（３）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文1 ［教材］ 『宇治拾遺物語』児のそら寝、検非違使忠明 『徒然草』丹波に出雲といふ所あり	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題
	漢文1 ［教材］ 『戦国策』狐借虎威	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：進んで訓読のきまりを理解し学習課題し沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題
二学期	小説1 ［教材］ 『羅生門』	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について、自分の考えをもっている。 c：進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	小テスト 課題	課題	レポート
	古文2 ［教材］ 『伊勢物語』芥川	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方、古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題
	古文3 ［教材］ 『土佐日記』門出	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

		c:旧暦や旧国名等の古典常識について積極的に調べ、日記文学の特徴を踏まえて読み味わおうとしている。			
	漢文2 ［教材］ 『十八史略』先従隗始	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景を理解し、内容の解釈を深めている。 c:進んで訓読のきまりを理解し、昔に出来上がった言葉が現在どのように用いられているかについて関心を深めようとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題
三学期	古文4 ［教材］ 『平家物語』木曽の最期 『枕草子』ありがたきもの	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、表現の特徴に留意しながら内容や構成、展開を的確にとらえている。 c:進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、歌集ごとの特徴を捉えようとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題
	古文5 『竹取物語』なよ竹のかぐや姫	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 B[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題
	漢文3 ［教材］ 「雑説」	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについての叙述をもとに的確にとらえている。 c:段落ごと(項目ごと)の要旨や主題を整理し、進んで本文内容や思想のありかたをまとめようとしている。	小テスト 定期テスト 課題	定期テスト 課題	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間